



### 平成 27 年度 農研機構近畿中国四国農業研究センター研究セミナー 「国土資源を活用した酪農・肉用牛経営のコスト低減の可能性と条件及び技術開発方向」の開催について

#### ポイント

- ・ 11 月 11 日(水曜日)に滝野川会館（東京都北区）において、農研機構近畿中国四国農業研究センター研究セミナーを開催いたします。
- ・ 「国土資源を活用した酪農・肉用牛経営のコスト低減の可能性と条件及び技術開発方向」をテーマに、今後の畜産経営の展開方向と課題を明らかにすることが目的です。
- ・ 都道府県行政・普及機関、農林水産省関係部局、生産者・生産者団体、民間企業、大学、試験研究機関等、どなたでもご参加いただけます。

#### 概要

1. わが国の酪農および肉用牛経営は、飼養戸数や飼養頭数が減少し、生産基盤が弱体化しています。
2. 生産基盤の強化には、飼料の安定供給やコスト低減を軸として、家畜の生産力及び畜産経営の収益性を上げることが重要です。
3. そこで、国土資源を活用した生産力及び収益性の高い畜産経営の具体的姿やその実現に必要な技術開発研究を浮き彫りにすることを目的にセミナーを開催します。
4. 都道府県行政・普及機関、農林水産省関係部局、生産者・生産者団体、民間企業、大学、試験研究機関等、どなたでもご参加いただけます。

報道関係各位におかれましては、本セミナーの開催を広くご案内いただきますとともに、当日ご参加の上、紙面、番組等でご紹介いただければ幸いです。

#### 記

日 時： 平成 27 年 11 月 11 日（水曜日）10 時 00 分～15 時 00 分（9 時 受付開始）

場 所： 滝野川会館 大ホール（東京都北区西ヶ原 1-23-3）

内容等： 別紙開催案内のとおり

内容等は農研機構近畿中国四国農業研究センターホームページ

URL: <http://www.naro.affrc.go.jp/warc/> の「セミナー・イベント情報」欄からもご覧いただけます。

#### 問い合わせ先

開催責任者：農研機構近畿中国四国農業研究センター 所長

竹中重仁

広報担当者： 同

広報普及室

船附稚子

TEL：084 - 923 - 5231

FAX：084 - 923 - 5215

本資料は、筑波研究学園都市記者会、農政クラブ、農林記者会、農業技術クラブ、日本農業新聞北海道支所、日本農業新聞中国四国支所、日本農業新聞九州支所に配付しています。

※農研機構(のうけんきこう)は、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構のコミュニケーションネーム(通称)です。新聞、TV 等の報道でも当機構の名称としては「農研機構」のご使用をお願い申し上げます。

平成27年度 農研機構近畿中国四国農業研究センター研究セミナー  
「国土資源を活用した酪農・肉用牛経営のコスト低減の可能性と条件及び技術開発方向」  
開催案内

1. 開催日時： 平成27年11月11日(水曜日)10時～15時 (9時 受付開始)

2. 開催場所： 滝野川会館 大ホール (東京都北区西ヶ原 1-23-3)

3. 主催

国立研究開発法人業・食品産業技術総合研究機構 近畿中国四国農業研究センター

4. 対象： 都道府県行政・普及機関、農林水産省関係部局、生産者・生産者団体、民間企業、  
大学、公設試験研究機関、農業・環境関係研究法人等

5. 内容：

開会挨拶 10時～10時10分

農研機構近畿中国四国農業研究センター 所長 竹中重仁

農研機構中央農業総合研究センター 仁平恒夫

研究セミナーの趣旨説明 10時10分～10時20分

農研機構近畿中国四国農業研究センター 千田雅之

セッション1： 研究報告 10時20分～11時50分

司会 近畿中国四国農業研究センター 笹倉修司

1. 飼料作分業、搾乳ロボット、放牧活用酪農の経営成果と技術開発方向

北海道農業研究センター 杉戸克裕

近畿中国四国農業研究センター 千田雅之

2. 放牧方式別の経営成果から見た肉用牛繁殖経営の展開方向と技術開発方向

近畿中国四国農業研究センター 千田雅之

九州沖縄農業研究センター 吉川好文

3. 飼料生産力・生産コストから見た飼料作経営の展開方向と技術開発方向

畜産草地研究所 恒川磯雄

北海道農業研究センター 久保田哲史

セッション2： 農業経営研究者及び経営者からのコメント 13時00分～13時50分

司会 近畿中国四国農業研究センター 千田雅之

1. 総括的コメントー酪農経営の課題と展開方向を中心にー

酪農学園大学農食環境学群 荒木和秋

2. 肉用牛経営の課題と経営展開方向及び研究課題

ドリームファーム 佐藤宏弥

3. 飼料作コントラクターの課題と経営展開方向及び研究課題

アグリアシストシステム株式会社 石原聖康

セッション3： 技術研究者からのコメント 13時50分～14時20分

司会 畜産草地研究所 大同 久明

1. 酪農先進経営の到達点と課題を踏まえた今後の技術開発について

北海道農業研究センター 須藤賢司

2. 肉用牛先進経営の到達点と課題を踏まえた今後の技術開発について

畜産草地研究所 山本嘉人

3. 飼料作先進経営の到達点と課題を踏まえた今後の技術開発について

畜産草地研究所 菅野勉

総合討論 14時20分～14時55分

司会 酪農学園大学 荒木 和秋  
中央農業総合研究センター 仁平 恒夫

閉会挨拶 14時55分～15時00分

近畿中国四国農業研究センター 笹倉 修司

6. 定員: 先着150名  
定員になり次第、締め切りとさせていただきますので、お早めにお申し込み下さい。

7. 参加費: 無料

8. 参加申込方法:

平成27年10月15日(木曜日)までに、参加申込書に必要事項をご記入のうえ、電子メールまたはファックスにてお申し込みください。

<申込先>

- (1) 電子メール: [warc-seminar1111\\_2015@ml.affrc.go.jp](mailto:warc-seminar1111_2015@ml.affrc.go.jp)

件名: 農経セミナー申込

本文: 「お名前」、「所属または職業」、「連絡先(電話番号、メールアドレス等)」、「参加者名簿への掲載の可否」

- (2) FAX: 084-923-5215

住所: 〒721-8514 広島県福山市西深津町6-12-1

宛名: 農研機構近畿中国四国農業研究センター広報普及室

9. 問合せ先: 農研機構近畿中国四国農業研究センター 広報普及室長 船附稚子  
TEL.084-923-5231 FAX.084-923-5215 E-mail. [warc-seminar1111\\_2015@ml.affrc.go.jp](mailto:warc-seminar1111_2015@ml.affrc.go.jp)